

寄附金の活用方法について

問 寄附金の活用方法について、地域活性化に結びつける地域の活動事業など、寄附金の使い道をあらかじめ具体的に示した上で寄附を募る「クラウドファンディング型」のふるさと納税の考えはないのか。

また、寄附された方達との、今後継続的なつながりを持つことも重要だと思いが、町の考えを伺う。

答 (永田地域振興課長) 寄附金の受付は、窓口や電話のみでなく、インターネットを利用して5つのポータルサイトでも受付を行っております。

本年度、そのポータルサイトの中でも八百津町への寄附金の84%を処理する運営会社との契約を、寄附金の使い道をPRする「ソリューションプラン」に変更しました。

この新たなプランは、全国で八百津町のみであるため、サイトの運営会社も力を入れている部分であり、今後八百津町の魅力をどのように全国に発信していくのか、寄附者の共感を得るため、八百津町のファンを増やすためにどのような配信をしていくのかなど、サイトの運営会社とともに検討を重ねている段階です。そして、寄附金の使い道を明確化し、クラウドファンディングを実施するように展開

してまいります。次に、ふるさと納税を通じて八百津町を知っていただいた寄附者の皆様とは、継続的なつながりをもつことが重要と考えます。寄附者の方にはお礼状はもちろんのこと、前年度の寄附実績、使い道の報告をポータルサイトやメールマガジンを通じて報告しております。

新しい返礼品や寄附金が充当される予定の事業が実施された際にも、寄附者へのお知らせ、報告を実施しております。町内事業者の中には、お礼の品の発送の際に感謝を記した手紙を同封し、独自に継続的なつながりを持つと努力している方もおみえです。

町にとつてはファンを獲得し、交流人口の増加、知名度のアップを図るチャンスであり、事業者にとつては新たな販路拡大につなげる絶好の機会となっております。今年度は、八百津町のイベント、杉原ウィークや産業文化祭などのチラシ等を送付し、八百津町へ来ていただけるようにしていきたいと思っております。

また、検討段階ではありませんが、同窓会開催に際して、その案内文書の郵送にかかる費用を町が補助する事業の設立を検討しております。

八百津町で生まれ育ち、現在は町外へお住みの方が多くいらっしゃいます。そのような方々

にもう一度八百津町を思い出していただくことを目的として、事業を実施できればと考えております。

協働のまちづくり事業への活用について

問 ふるさと納税の資金を協働のまちづくり事業に活用していく中で、地域にあつたきめ細かい使い道を考えていくべきだと思いが、考えを伺いたい。

答 (永田地域振興課長) 協働のまちづくり事業につきましては、平成29年度はハード事業2件、ソフト事業5件を実施しました。平成30年度は、ソフト事業を4件実施する予定でいます。

クラウドファンディングを利用しているまちづくりをというところかと思いますが、住民に発想していただいた内容をまた審査していただき、その後クラウドファンディングを行うという形になると思いますが、今後検討していきたいと思っております。

山田 勉 議員

Q1 新丸山ダムについて

協議会の立ち上げについて

問 新丸山ダム完成後の八百津町の将来計画について検

討する協議会等を立ち上げ、具体化を進めたらどうか。

答 (藤掛建設課長) 協議会については、昨年8月、「新丸山ダム水源地域協議会」が設立されました。この協議会の構成メンバーは、新丸山ダム工事事務所、丸山ダム管理所、ダム周辺市町(八百津町、御高町、恵那市、瑞浪市)、関西電力(株)で構成されています。

ダム本体やダム湖並びにダム周辺地域の有効な利活用の方法や周辺の観光、ダム上下流域の交流など、町の活性化に結びつく効果的な施策を検討するものです。

具体的には、町内の飲食店と協力し、ダムカレーを開発・販売したり、町内の飲食店を回るスタンプラリーを開催し、その景品としてダム転流工の発破石を配布しました。発破石は「初志貫徹」などの意味があり、縁起が良いと大変好評で、予定数量がすぐになくなったと聞いています。ダムカレーは、現在も販売を継続しております。

また、旅行会社と協力し、ダムツアーを開催しました。このダムツアーは、丸山ダムの見学だけでなく、杉原千畝記念館の見学や潮見山の直売所、八百津本町通り商店街の散策もコースに入れ、大変好評だったと聞いております。

また、ダムマニアの方を対象としたダムシンポジウムを開催したところ、申し込みがすぐに埋まるほど好評でした。このように観光や地域振興につながる施策をいろいろと計画し、実現化しております。

今後、新丸山ダム本体の工事が始まります。また、新丸山ダムが完成した後においても八百津町の活性化や地域振興につながるような施策を検討してまいります。

町単独の協議会の立ち上げについて



丸山ダム周辺

町単独の協議会の立ち上げについて

問 八百津町と周辺市町で協議会を設立しているとのことだが、本町独自で協議会を立ち上げるべきだと思いが、考えを伺う。

答 (藤掛建設課長) 八百津町だけで協議会を立ち上げたらどうかとの質問ですが、例えばダムツアーを計

画してまいります。